

☆ 1つだけ特別 ☆

同じ特徴をもつ4つの素材と違う特徴をもつ1つの素材、合わせて5つの素材を集めよう。そして相手に、どれが特別で、その特徴は何なのかを当ててもらおうクイズを出そう。



準備するもの

- ・特になし

ねらい

- ・自然の素材に目を向け、特徴を観察する。
- ・クイズをつくることで創造性を養う。

ながれ

1. 公園にあるもので1つだけ他の4つと違う特徴を持つように5つのものを集めてきてもらう。(1人1人でもいいし、2~3人一組でも良い。)
※ 説明が難しい場合は大人がはじめに例を挙げても良い。
例えば5枚の葉っぱのうち4枚は木から、1枚は草から選ぶ。(右上の写真参照)
2. 見つけてきた人が「この5つの中にひとつだけ他の4つと違う特別なものがあります。それはどれでしょう？」とクイズを出す。
出題者以外はどれが特別で、その特徴は何か、みんなで考えて当てる。
答えがなかなか出ない場合は、出題者にヒントを出してもらう。
3. 集めてきたものを「#leafプログラム #一つだけ特別」でインスタにのせてみよう！

ポイント

子どもたちの考えを尊重し、素材どおしの共通性と違いの両方に目を向けるように促す。

出題者の意図と違う答えがでることもあるが、その理由を聞いて、見方によっていろいろな考え方があること、答えは一つでないことを肯定する。



発展

自然の中にある同じもの、違うものから生物の分類の話へと発展させ、興味のある動植物について調べてみる。